

第2回鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議

日時：令和4年4月27日（水）11:00～
場所：鳥取県庁災害対策本部室
（オンライン接続）
鳥取県西部総合事務所
各委員

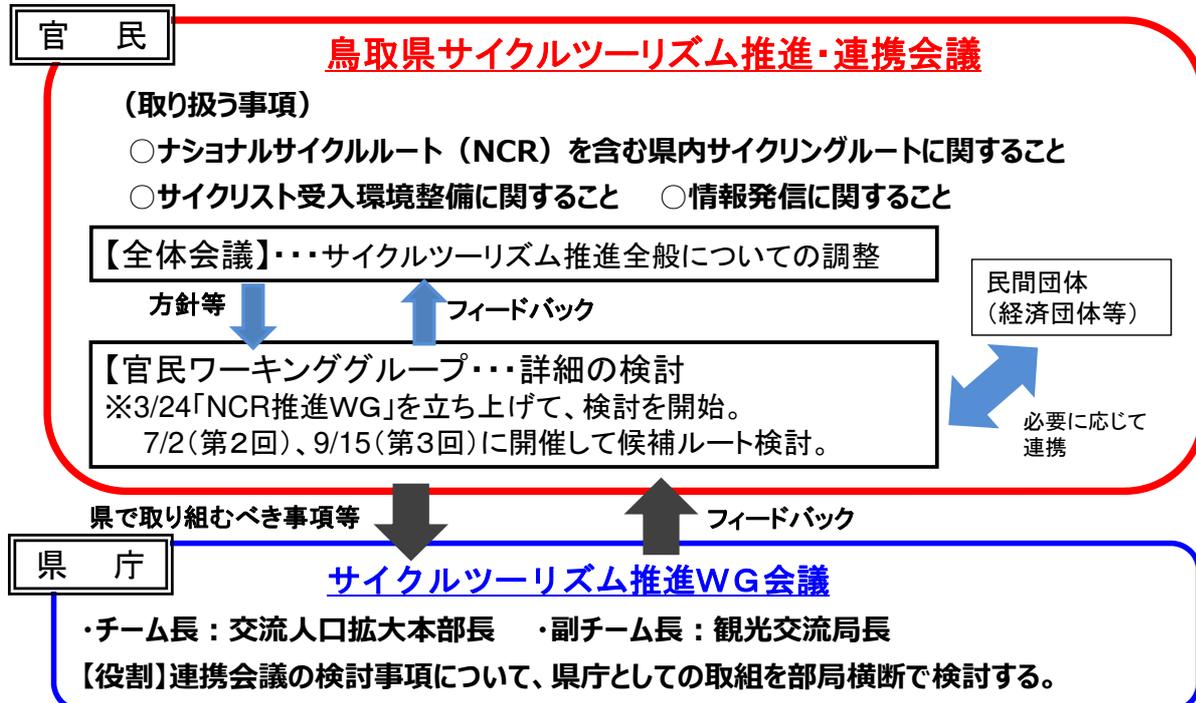
- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議題
 - (1) ナショナルサイクルルート指定を目指す県内候補ルート
 - (2) 鳥取県の取組について
 - (3) その他
- 4 意見交換
- 5 閉会

1

官民連携したサイクルツーリズム推進体制 鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議（R3.2/22発足）

◆役割

官民が協働して県内サイクルツーリズムを推進し、ナショナルサイクルルート（NCR）指定を目指すにあたり、関係者が情報共有、意見交換等を行う。



2

【全体会議】鳥取県サイクルツーリズム推進・連携会議 出席者

区分	団体名	役職	氏名
外部有識者	ナショナルサイクルルート審査委員会 (株)ARCH・ヒーロー北海道 代表取締役社長)	委員	高橋 幸博
サイクリスト	鳥取県サイクリング協会	副会長	生田 仁史
	とっとりサイクルツーリズムの会	会長	山下 眞里
自転車産業	鳥取県自転車商協同組合	副理事長	河井 広道
	(有)森の国 (コグステーション大山)	代表取締役社長	伊澤 大介
	皆生温泉旅館組合米子市観光センター (コグステーション皆生)	理事	細羽 正
観光・経済	鳥取県商工会連合会	会長	土井 一朗
	鳥取商工会連合会西部商工会産業支援センター	所長	澤田 裕一
	鳥取県商工会議所連合会	幹事長	中山 孝一
	(一社) 日本旅行業協会中四国支部鳥取地区委員会	委員長	久保島 宏
	(一社) 全国旅行業協会鳥取県支部	事務局長	大原 範雄
	(公社) 鳥取県観光連盟	会長	小谷 文夫
交通	西日本旅客鉄道(株)営業本部山陰営業部	担当	平新 直大
	(一社) 鳥取県バス協会・(一社) 鳥取県ハイヤータクシー協会	専務理事	橋本 孝之
国	国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所 倉吉河川国道事務所 日野川河川事務所	副所長	松岡 弘久
		計画課長	道永 光夫
		事務所長	藤原 年生
		事業対策官	稲田 一敏
市町村	米子市	市長	伊木 隆司
県	鳥取県	知事	平井 伸治

3

ナショナルサイクルルート(NCR)推進WGの検討経過

R3.3.24(第1回)

- ・県内サイクリングコース状況、ナショナルサイクルルート制度について共有

R3.7.2(第2回)

- ・NCR指定を目指す県内候補ルートの選定方法の確認
- ・NCR指定要件に照らした鳥取うみなみロードの状況の確認
- ・「大山周遊ルート(仮)」が、NCR指定を目指す旨の報告
※鳥取うみなみロードを補完するルートとしての位置づけ
(大山山麓・日野川流域観光推進協議会)

R3.9.15(第3回) ※新型コロナウイルス感染拡大のため書面開催)

- ・鳥取うみなみロードをNCR指定を目指す県内候補ルートとすることに
ついてWGメンバーの意見を集約。
⇒31名全員から意見提出があり、賛成が多数。
⇒課題についても多くの意見があり、今後関係機関とよく検証・調整して
自転車の走行環境・受入環境整備の充実に取り組んでいく。
※「大山周遊ルート(仮)」については、西部圏域でのルート検討が
昨年10月から始まり具体的なルート設定をしている段階であり、
今回検討の対象から外れる。

4

【NCR推進WGの検討結果】

- ・「鳥取うみなみロード」をナショナルサイクルルート指定に向けた県内候補ルートの基軸ルートとして位置づけることに合意。
- ・なお、今後は、提出のあった意見書の課題にも挙げられている走行環境整備と受入環境(地域の気運醸成含む)の両面から取り組むこととする。
- ・また、第2回WGで大山山麓・日野川流域観光推進協議会から提案のあった「大山周遊ルート(仮称)」については、今後も引き続き県内候補ルートに加えるかどうか検討を継続していく。

5

第3回NCR推進WGで出された主な意見

■鳥取うみなみロードの魅力

- ・日本海沿いに鳥取県を横断するルートで、地図にあるような地域を代表する観光地と連携できるため、鳥取県を代表するサイクルルートとしてふさわしい。
- ・東の鳥取砂丘、西の大山を筆頭に国際的にも魅力を感じていただけるコース。
- ・県内を横断するルートとなっており、東中西部全ての空気を感じられる。
- ・北側に日本海、南側に中国山地を位置するルートであり、地理的にわかりやすく、初めての来訪者も安心できる。
- ・白砂青松コース、由良～青谷付近の海岸線や山陰海岸ジオパークも含み海の魅力的な景観を多く含むルート。

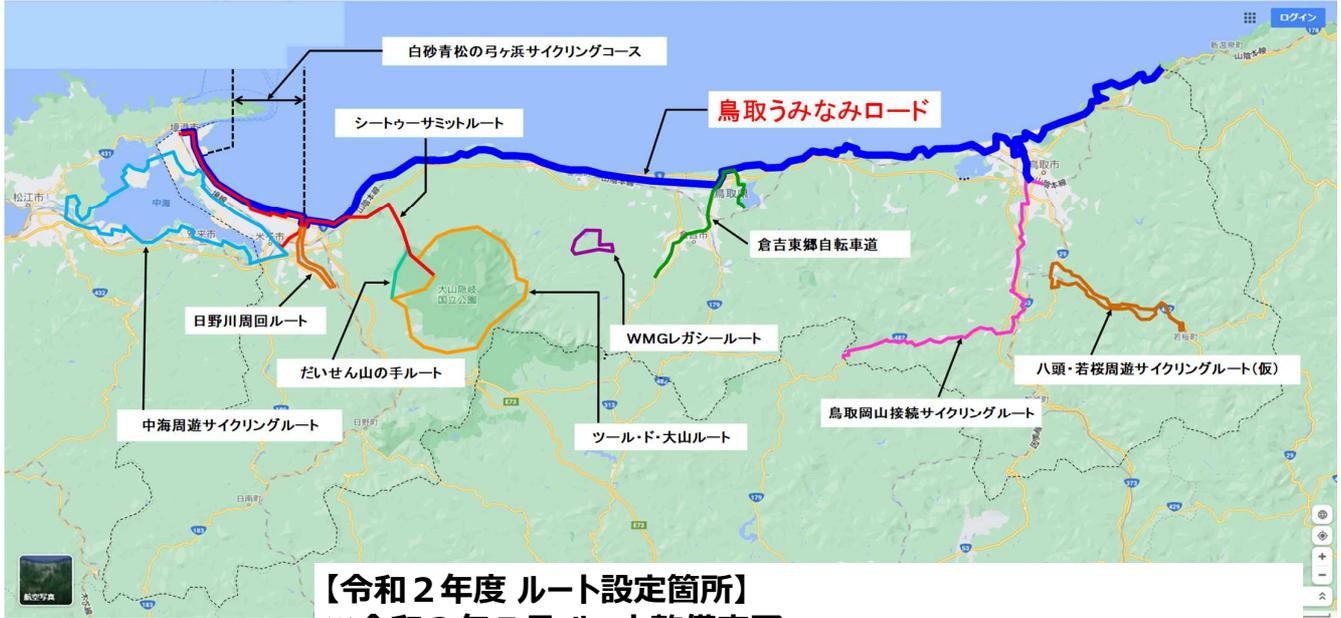
■鳥取うみなみロードの課題

- ・鳥取砂丘へ向かう鳥取河原自転車道が、鳥取市浜坂町内を曲折しており、通行の安全を確保する必要がある。
- ・ルート(道路)の整備(安全対策、舗装改善)が必要。
- ・線的なルートで、面的な広がりがない。
- ・鳥取市浜村地区では、飛砂により走行に支障の恐れあり。
- ・自動車交通量が規定を超える及び幅員幅が狭い区間が一部あり、安全面での配慮が必要。
- ・観光振興策としてどう活かしていくのか?という戦略・戦術が見えない。
- ・ルート全体の整備計画を作る必要がある。
- ・サイクリストのニーズに対応した施設の設置が必要。
- ・ロードから外れている山間の町への誘客をうまく行っているかが課題。
- ・サイクリストのマナー育成が必要。
- ・県民への周知による県全体の盛り上がりを作りたい。(サイクリストウェルカムの空気)

6

鳥取県内のサイクリング施策(サイクリストの聖地鳥取県整備事業)

1 県内サイクリングルート整備



【令和2年度 ルート設定箇所】

※令和3年5月 ルート整備完了

- 日野川周回ルート 初級者向け/距離: 約19km/獲得標高: 約124m
- だいせん山の手ルート 初級者向け/距離: 約9km /獲得標高: 約174m

【令和4年度 ルート設定予定箇所】

- 若桜・八頭周遊ルート 初級者向け/距離: 約45km/獲得標高: 約553m
⇒ジャパンエコトラックに編入する予定。

鳥取県内のサイクリング施策(サイクリストの聖地鳥取県整備事業)

2 サイクリスト受入環境の整備

(1) ダイジョウブシステムの運用

安心してサイクリングを楽しむためのサポート体制

- コグステーション (7施設) ※レンタサイクル等拠点
- サイクルカフェ (126店舗) ※飲食店
- サイクルポート (86店舗) ※コンビニエンスストア
- サイクリストに優しい宿 (17施設)
- サイクルキャリア搭載UDタクシー (22営業所)

※参画施設数...R4年4月19日時点



《サイクリスト向けサービス》 ①バイクラック設置 ②トイレ利用 ③空気入れ・パンク修理工具の無償貸出 等

(2) レンタサイクル拠点の整備 (県東中西部に点在)

令和3年度以降、**東部・中部にもレンタサイクル拠点を拡大**

- コグステーション湯梨浜 (はわい温泉・東郷温泉観光案内所) [R4年度]
- コグステーション三朝温泉 (三朝温泉観光商工センター「ほっとプラ座」) [R3年度]
- コグステーション岩美 (岩美町観光協会) [R3年度]
- コグステーション柘水フィールドステーション [R3年度]
- コグステーション大山 (森の国)
- コグステーション皆生 (米子市観光センター)
- コグステーション夢みなとタワー (夢みなとレンタサイクル)

コグステーション三朝▶ (「ほっとプラ座」)



◀コグステーション皆生 (米子市観光センター)

鳥取県内のサイクリング施策(サイクリストの聖地鳥取県整備事業)

(3) 県サイクリングガイドの養成 (全県: R3~)

鳥取ならではの多様な魅力とサイクリングをつなげ、観光客に提供するスキルを有するサイクリングガイドの掘り起こし、人材育成を図るため、「座学+実走」の講座を実施する。

※ R3年度は、鳥取市、倉吉市で12月~3月に座学・実走を実施。
21名が座学3回、実技1回の全課程を修了した。



倉吉市(倉吉シティホテル)

(4) 「鳥取県サイクリストに優しい宿」 認定制度の開始 (R3~)

【認定要件】

- (1) 自転車の客室持込、又は屋内の安全な場所での保管 ★
- (2) チェックイン前、チェックアウト後の荷物預かり ★
- (3) 衣類の洗濯(ランドリーサービス又はコインランドリー) ★
- (4) 荷物の宅配の受取、発送 等

※NCR指定要件(★印は必須項目。おおよそ60kmごとに1軒必要)

※ 鳥取県宿泊施設魅力アップ事業補助金により、自転車を館内(玄関口、客室等)に駐輪する等の整備に要する経費(工事請負費)等について支援(上限:1,000千円、補助率:1/2)。



客室持込の例(国民宿舎山紫苑)

(5) 県内サイクリングルートを活用したサイクリングイベントの実施 (R3~)

県内全域をフィールドにしたコース設定型イベントを実施し、県内サイクリングルートの魅力を広く発信するとともに、サイクリング振興に向けた県民の気運醸成を図る。

※**新型コロナ**の状況を見極めながら、**R4年度は開催を想定**

9

サイクルツーリズム振興室の設置(R4.4)

◆ ナショナルサイクルルート指定を目指し、令和4年4月に「サイクルツーリズム振興室」を設置



サイクルツーリズム振興室

目的

- ◆ 県庁内部局横断でサイクルツーリズム振興施策を推進
- ◆ 官民が一体となったサイクルツーリズムの取組を強力に推進し、サイクリストの聖地化を目指す

組織

- ◆ 観光戦略課職員のほか、ハード整備を担う県土整備部をはじめ、生活環境部、東・中・西部の総合事務所等からも参画した横断的組織
- ◆ サイクリング施策推進に向け、新たに置いた「サイクルツーリズム振興監」が全体を統率

R4鳥取県内のサイクリング施策(サイクリストの聖地鳥取県整備事業)

区分	内容
ナショナルサイクルルート指定に向けて	候補ルートの走行環境・受入環境の充実に取り組む。 【走行環境】 ・安全・快適に走行するための路面標示等の整備計画策定 【受入環境】 ・多様な交通手段に対応したゲートウェイの整備に向けた支援 ・サイクリスト支援態勢(ダイジョウブシステム)の維持・拡充 ・県内サイクリングルートを活用したライドイベントの実施 ・地域の魅力を紹介するサイクリングガイドの養成
サイクルツーリズムの全県展開	・サイクリングマップ電子化によるナビゲーションの構築 ・サイクリングルート利用者数調査 ・サイクリングロード(鳥取河原自転車道及び倉吉東郷自転車道)の整備 ・ジャパンエコトラック第1号認定ルートの活用 ・サイクルトレイン・サイクルバス普及推進事業補助金 ・サイクリングイベント(スポーツ用自転車レンタル)支援事業補助金(補助率1/2、上限200千円) ・レンタサイクル拠点整備事業補助金(補助率1/2、上限1,000千円)
広域連携・情報発信	中国地方が魅力的なサイクリングエリアとなることを目指し、中国5県が連携して受入環境の整備等に取り組むとともに、近県サイクリング大会におけるP R等の情報発信に取り組む。

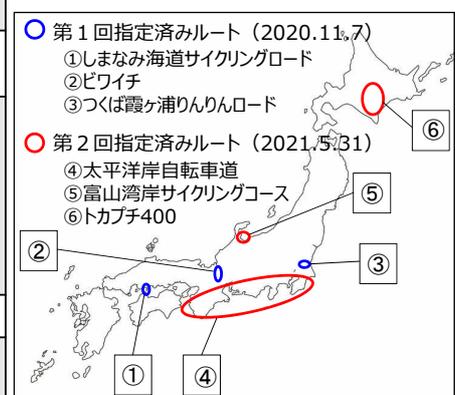
ナショナルサイクルルート制度(R1.9~)

- 優れた観光資源を有機的に連携したサイクルツーリズムの推進により、日本における新たな観光価値を創造し、地域の創生を図るために、一定の水準を満たすルートを対象として「ナショナルサイクルルート」に指定する。
- ルートにおける取組の継続性を評価する必要があることから、新たなルートの指定の有無の確認については、国の自転車活用推進計画期間内に1回とし、3~5年ごとに実施する。

■ ナショナルサイクルルートの指定要件

観点	指定要件
1. ルート設定	①サイクルツーリズムの推進に資する魅力ある安全なルートであること
2. 走行環境	①誰もが安全・快適に走行できる環境を備えていること ②誰もが迷わず安心して走行できる環境を備えていること
3. 受入環境	①多様な交通手段に対応したゲートウェイが整備されていること ②いつでも休憩できる環境を備えていること ③ルート沿いに自転車を運搬しながら移動可能な環境を備えていること ④サイクリストが安心して宿泊可能な環境を備えていること ⑤地域の魅力を満喫でき、地域振興にも寄与する環境を備えていること ⑥自転車のトラブルに対応できる環境を備えていること ⑦緊急時のサポートが得られる環境を備えていること
4. 情報発信	①誰もがどこでも容易に情報が得られる環境を備えていること
5. 取組体制	①官民連携によるサイクリング環境の水準維持等に必要な取組体制が確立されていること

【参考】指定済みルート・審査予定ルート



《ナショナルサイクルルート指定手続き》



- ◆ 国やJNTO(日本政府観光局)によるプロモーション
- ◆ 社会資本整備総合交付金等により、地域の取組に対して重点的に支援
- ◆ ナショナルサイクルルートとしてのブランド価値の向上

NCR指定関連スケジュール(予定)

	スケジュール	取組事項
R3年	<p>2月 3月</p> <p>第1回連携会議 (2/22)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 連携会議設立 ▶ NCR指定に向けた方向性の確認 <p>官民WG 3/24 7/2 9/15</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 候補ルートの現状確認・整備必要事項の確認 ▶ NCR指定に向かう候補ルートの絞り込み <p>県庁WG ※随時開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ R4年度対応事項・役割分担の精査 <p>11月</p>	<p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング専門誌への掲載 ・サイクリングポータルサイト作成 ・ジャパンエコトラック編入(日野川周回ルート、だいせん山の手ルート) <p>○ルート設定</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NCR指定を目指す候補ルートの決定 <p>○受入環境整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「サイクリストに優しい宿」認定制度の開始 ・施設改修の支援 ・レンタサイクル拠点の整備の支援 ・サイクリングガイドの養成講座の実施 ・サイクリストサポート施設(サイクルカフェ等)の整備 <p>○情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サイクリング専門サイトへの掲載 ・ジャパンエコトラック編入(八頭若桜周遊ルート)
R4年	<p>1月 4月</p> <p>第2回連携会議 (4/27)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 候補ルートの決定 ▶ R4年度対応事項・役割分担の確認 <p>官民WG</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 候補ルート課題認識の共有 ▶ NCR指定を目指す候補ルートの整備計画策定の進捗よく管理 ▶ 新たな官民WGの立ち上げ・検討 <p>県庁WG</p> <p>5月</p> <p>第3回連携会議 (R4秋~R5冬)</p> <ul style="list-style-type: none"> ▶ 整備計画の報告 ▶ R5年度対応事項・役割分担の確認 	<p>○ルート整備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・NCR指定を目指す候補ルートの整備計画の策定 ・自転車走行空間の確保、案内標示の整備等 <p>○受入環境整備、情報発信の継続実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲートウェイ整備に向けた支援 ・県内サイクリングルートを活用したライドイベント実施 ・レンタサイクル拠点の整備の支援 ・サイクリングガイド養成講座の実施 ・サイクリストサポート施設(サイクルカフェ等)の維持・拡充 ・Instagramによる新たな情報発信等
R5年	<p>○次回の指定時期(令和6年度想定)に向けて、走行環境整備を加速させるとともに、受入環境の充実を図る。</p>	